

# はじめまして3の指。より高い音域を弾くために知っておきたい左手の形。 第6ポジション

## ・第6ポジション

D、A、E各線の音列はG、D、A各線の第3ポジションと同じです。

前回までと大きく違うのは、親指がネックの側面にくること。

そして小指（4）は使わなくなり、薬指（3）を使うようになります。

これまでくっついていた2-3の指は離れ、親指はネックの側面に置き、1-2-3の指は斜めに弦を押さえるようになります。

今回も「ダブルシャープ」が登場します。

ダブルシャープは楽譜に「x」という記号で書かれることをもう一度、覚えておきましょう。

#で半音上げた音をさらに半音上げてくださいね、という意味があり（重嬰記号）とも呼ばれます。

たとえば「ファ」の音にシャープ（#）が付けば半音上がり「ファ#」の音になります。

そして、ダブルシャープ（x）が付けば、さらに半音上がり「ソ」と同じ音になります。

吹奏楽作品の中にもたまに顔を出す記号ですなので、覚えておくと役に立ちます。

G線を使った第6ポジションの音列

## 第6ポジション 各弦の音

メトロノームと合わせて各弦の音を覚えよう！

はじめはゆっくりから、弓を全部使って、または音符の長さに合わせた配分で練習します。

弓と弦は直角に、左手の形は開放弦を弾いているときも弦の上でキープしておきましょう。

♩ = 44 ~